

□主な内容

●第 24 回「日本鉄道賞」の受賞者が決定しました！【国土交通省】

国土交通省は、日本鉄道賞表彰選考委員会において「日本鉄道賞」の受賞者を決定したことを公表しました。

<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001910028.pdf>

●「エコレールマーク」の認定企業が決まりました！【国土交通省】

国土交通省は、第 49 回「エコレールマーク運営・審査委員会」において、エコレールマークの取組企業として 1 社、協賛企業として 3 社が新たに認定されたことを公表しました。

https://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo01_hh_000234.html

□目次

1. 寄稿「地方から全国に向けた情報発信！」(第 222 回)

●EVバスの導入・活用による離島の脱炭素化に向けた取り組み

【九州電力株式会社 コーポレート戦略部門 白木 太一朗】

2. ニュース／トピックス

●第24回「日本鉄道賞」の受賞者が決定しました！【国土交通省】

●「エコレールマーク」の認定について【国土交通省】

●持続可能な物流体系の構築にむけて ～「多様な輸送モードの更なる活用に向けた実証等事業」の三次公募開始～【国土交通省】

●令和7年度「モーダルシフト等推進事業費補助金」二次募集の交付決定【国土交通省】

●船舶へのモーダルシフト推進にご活用ください！ ～中・長距離フェリー、RORO船及び内航コンテナ船に係る積載率動向について～【国土交通省】

●全国のバス時刻表を一覧、WEBサイトをスタート！【日本バス協会】

●ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー2025開催のお知らせ【カーフリーデー・ジャパン】

●2050年カーボンニュートラル達成に向けた持続可能燃料に関するブラジル自動車工業会(ANFAVEA)との共同ステートメントを発表【自工会】

●自動運転車(レベル4)の認可を行いました【関東運輸局】

●共創プロジェクト「公共交通のスマート化」～電動キックボードの実証実験を行います～【日立市、日立製作所】

●「エコモビ実践キャンペーン2025」参加企業・団体等を募集しています！【愛知県】

- クレジットカード等のタッチ決済による乗車サービス(実証実験)を拡大【東京都、三井住友カード、JCB、日本信号、オムロン ソーシャルソリューションズ、QUADRAC】
- 「バス無料デー」を実施します！【宮崎県バス利用促進協議会】
- 甲子園エリアで自動運転EVバスの実証実験を実施します【西宮市、阪神電気鉄道】
- 駒ヶ根市公共ライドシェア(meemo駒ヶ根)実証実験【駒ヶ根市、OSS】
- ヤマト運輸のセールスドライバーによる客貨混載型の公共ライドシェア「島のりあい」の実証運行を開始【奥尻町、ヤマト運輸】
- AIデマンド交通を見据えた交通空白解消プロジェクトを開始【士幌町、パブリックテクノロジーズ】
- ぐるりんミニバス「中山線」デマンド運行実証実験を行います【田原市】
- 水素で走るFCVカーシェアリング【おおい町】
- 千葉駅を起点とするモビリティハブ「千葉ぷらっと」の実証実験 ～移動と生活サービスが融合した新たな都市機能の可能性を検証～【JR東日本、AMANE、ジオテクノロジーズ】
- シェア乗りタクシーサービス「NearMe(ニアミー)」の運用を開始【栗東市観光協会、帝産タクシー滋賀、NearMe】
- 新幹線を活用した荷物輸送サービスの拡充について【JR東海、JR西日本】
- 「HELLO CYCLING」と「Lime」が業務提携 国内最大級シェアサイクルと世界最大級の電動モビリティが協働し、地域交通の利便性向上とインバウンド観光の活性化へ【OpenStreet、Lime】
- アイルランド・レタケニーに電動モビリティハブ開設【ドネゴール県議会、ATU、TCD、ESB、インタープライズ・カー・クラブ】
- アイルランド、持続可能なモビリティ行動計画で大きな進展を報告【アイルランド 運輸省】

3. イベント情報

- バスの日イベント in 鳥栖【2025/10/4】
- 鉄道フェスティバル in 東北【2025/10/5】
- 第 10 回おでかけ交通博 2025in あいづ【2025/10/10、11】
- 第 32 回「鉄道の日」【2025/10/11】
- にいつまると鉄道フェスタ【2025/10/11】
- 第 32 回「鉄道フェスティバル」【2025/10/11】
- ちばモノレール祭り 2025【2025/10/18】
- 駅祭テイング 2025 in 天王寺公園【2025/10/19】
- 地域脱炭素マッチングイベント【2025/10/24】
- 第 32 回「鉄道の日」記念イベント【2025/10/25】

4. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 電動小型低速車に関する情報を掲載しています！
- 「運輸・交通と環境」を発行しています！
- 記事募集中！

1. 寄稿「地方から全国に向けた情報発信！」(第 222 回)

●EVバスの導入・活用による離島の脱炭素化に向けた取り組み

【九州電力株式会社 コーポレート戦略部門 白木 太一郎】

鹿児島県の沖永良部島・知名町は、さんご礁の海、鍾乳洞で知られる自然豊かな町です。空港や港からのアクセスもシンプルで、島内移動は比較的短距離。こうした特性は、静かに走り、排気ガスを出さない電気バス(EVバス)と相性が良いと言えます。



九州電力は、自治体・企業向けに「九電でんきバスサービス」を提供しています。車両、充電器、設置工事、エネルギーマネジメント(EMS)、運用フォローまでを一つにまとめ、毎月定額で導入・運用できるのが特徴です。大きな初期投資を抑えつつ、現場で使いやすい運行を一緒につくることを重視しています。

知名町では、島内唯一の大型観光ホテルであるフローラルホテルの送迎用途で、空港・港とホテルを結ぶディーゼルバスを、6.99m の小型 EV バスに置き換えました。ホテル車庫には壁掛け 30kW の急速充電器を設置し、施設の電力使用を見ながら充電のタイミングを整えるため EMS を導入。充電に用いる電力は、非化石証書を活用することで実質的に再エネ由来相当として運用しています。



導入までの進め方は、①現地調査と運行シミュレーション、②車両・充電器の選定と補助金対応、③設置工事・車両登録、④ドライバー教育・試験運行、⑤運用後のデータ確認と改善提案、という流れです。現場の制約（敷地、電気契約、ダイヤ）に合わせて、車両・設備・運用を一体で設計しました。

効果としては 2024 年 4 月の運行開始から 1 年間で約 9,500km を走行し、約 1,500 人の送迎を実施。ディーゼル代替により、同期間で約 1.6 トンの CO₂削減につながりました。静かで振動が少ない走りは、乗り降りの安心感にもつながり、ホテル周辺の環境にも配慮できます。島の脱炭素の取り組みを伝える車体ラッピングや、運用開始セレモニー、環境学習の受け入れも行い、地域の認知と参加意識の醸成に寄与しました。再生可能エネルギーの発電量が日によって変わる離島において、EV が「余った電気の使い道」になり得る点も前向きな効果です。

EV バスは、単なる車両更新ではなく、地域のエネルギーと移動を結ぶ新しい基盤です。九州電力は、知名町とフローラルホテルをはじめ関係者の皆さまと連携し、経済性・環境性・防災性のバランスを大切に、離島に適した静かで確かな足を広げていきます。

ここで紹介された九州電力株式会社、鹿児島県知名町、おきえらぶフローラル株式会社の取組みは、「第 15 回 EST 交通環境大賞」で奨励賞を受賞しました。他にも受賞した取組みは、「第 15 回 EST 普及推進フォーラム」で表彰され、受賞団体講演やパネルディスカッションも行われました。

講演資料やアーカイブ動画は、以下のページをご覧ください。

第 15 回 EST 普及推進フォーラム「交通分野における環境負荷低減の重要性」
開催結果(概要)

https://www.estfukyu.jp/forum_kaisai_kekka17.html

2. ニュース／トピックス

●第24回「日本鉄道賞」の受賞者が決定しました！【国土交通省】

国土交通省は、日本鉄道賞表彰選考委員会において「日本鉄道賞」の受賞者を決定しました。

「日本鉄道賞」は、「鉄道の日」創設の趣旨である鉄道に対する国民の理解と関心を深め、国民の強力な支持を得るとともに、鉄道の一層の発展を期することを目的としており、鉄道に関する優れた取組みに対して表彰するものです。

【日本鉄道大賞】

○神戸市交通局

『KOBE KAWARU ACTION 駅から神戸をよくしよう』

【日本鉄道賞表彰選考委員会による特別賞】

○東京地下鉄株式会社

『日本の地下鉄では初めてとなる無線式列車制御システム(CBTC システム)の導入』

○四国旅客鉄道株式会社

『チケットアプリ「しこくスマートえきちゃん」の開発』

○のと鉄道株式会社

『のと鉄道 震災から立ち上がる復興への取り組み』

○株式会社旅行読売出版社、読売新聞大阪本社、TOPPAN 株式会社、TOPPAN デジタル株式会社、株式会社エスツー、株式会社 DG フィナンシャルテクノロジー

『現地消費型ふるさと納税を活用した地方鉄道・沿線自治体支援の取り組み「テツふる」』

<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001910028.pdf>

●「エコレールマーク」の認定について【国土交通省】

国土交通省は、第 49 回「エコレールマーク運営・審査委員会」において、エコレールマークの取組企業として 1 社、協賛企業として 3 社を新たに認定しました。

エコレールマーク制度は、企業の鉄道貨物輸送へのモーダルシフトを促進するために、地球環境に優しい貨物鉄道輸送を一定以上利用している商品又は企業に対して、「エコレールマーク」の認定を行い、マークの表示によって消費者に判断基準を提供する制度です。

https://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo01_hh_000234.html

●持続可能な物流体系の構築にむけて ～「多様な輸送モードの更なる活用に向けた実証等事業」の三次公募開始～【国土交通省】

国土交通省は、陸・海・空の輸送モードを総動員した「新モーダルシフト」の促進に向けて、航空機の空きスペース等の活用や内航海運の新規需要創出を推進することにより、環境負荷の低減、トラックドライバーの輸送力不足及び災害時の安定的な物流網の確保を実現し、

持続可能な物流体系の構築を図ることを目的とした「多様な輸送モードの更なる活用に向けた実証事業」の三次公募を開始しました。公募期間は、10月8日までです。

https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000942.html

●令和7年度「モーダルシフト等推進事業費補助金」二次募集の交付決定【国土交通省】

国土交通省は、令和7年度「モーダルシフト等推進事業費補助金」二次募集案件について、計画策定経費補助1件、運行経費補助6件の交付決定を行いました。

本補助金は物流分野における労働力不足への対応や環境負荷の低減を図るため、物流効率化法に基づき、トラック輸送から鉄道・海運への転換（モーダルシフト）や幹線輸送網の集約化等の取組みに対し助成するものです。

<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001907005.pdf>

●船舶へのモーダルシフト推進にご活用ください！ ～中・長距離フェリー、RORO船及び内航コンテナ船に係る積載率動向について～【国土交通省】

国土交通省は、中・長距離フェリー、RORO船及び内航コンテナ船に係る積載率の動向（2025年4～6月実績）についての調査結果を公表しました。

https://www.mlit.go.jp/report/press/kaiji10_hh_000161.html

●全国のバス時刻表を一覧、WEBサイトをスタート！【日本バス協会】

公益社団法人日本バス協会は、バス利用者向けの新たなWEBサイト「全国バス時刻表」を公開しました。

本サイトは、日本全国の路線バスおよび高速バスの時刻表ページを、都道府県ごとに一か所に集約したポータルサイトです。公開時点で[路線バス:約400件、高速バス:約250件]の事業者・路線情報をカバーしており、各バス会社が提供する公式時刻表ページへワンクリックでアクセスできます。

サイトはパソコンはもちろん、スマートフォンにも対応し、都道府県ごとに事業者名・時刻表ページURL・QRコードをシンプルに一覧表示し、バス利用者の皆さまが目的の情報に容易にたどり着ける設計です。

これにより、日常の通勤・通学から観光・ビジネス利用まで、幅広いバス利用者の利便性を高め、バス利用の促進を図ります。

https://www.bus.or.jp/cms/wp-content/uploads/2025/09/R7.9.19press_timetable.pdf

●ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー2025 開催のお知らせ【カーフリーデー・ジャパン】

一般社団法人カーフリーデー・ジャパンは、欧州委員会運輸・交通総局のもと、ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー（EMW&CFD）運営委員会により任命された日本担当コーディネーターを代表とする組織で、日本でのEMW&CFDの普及、広報、支援を行っております。

ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデーは、持続可能なまちづくりにむけた環境や移動に関する啓発週間です。移動を切り口に、個人のライフスタイルから地球環境まで幅広く市民や行政とともに考えます。毎年 9/16-22 に、ヨーロッパを中心に世界の約 3,000 都市が参加し、日本も 2004 年から参加しています。今年は全国 6 都市(杉並区・逗子市・金沢市・福井市・日野町・大阪市)が参加しました。金沢市では 10 月 4 日(土)に開催されます。

https://cfdjapan.org/wp-content/uploads/2025/09/EMW2025_pressrelease.pdf

●2050年カーボンニュートラル達成に向けた持続可能燃料に関するブラジル自動車工業会(ANFAVEA)との共同ステートメントを発表【自工会】

一般社団法人日本自動車工業会(自工会)は、2025 年 9 月 15 日に初めて開催される持続可能燃料閣僚会議や 11 月にブラジルで開催される COP30 に向けて、ブラジル自動車工業会: Brazilian Association of Automotive Vehicle Manufacturers(ANFAVEA)との共同ステートメント「現実に即し好結果をもたらす道路交通セクターの脱炭素化-バイオ燃料を含む持続可能燃料と技術的多様性の戦略的役割-」を発表しました。

https://www.jama.or.jp/release/news_release/2025/3232/

●自動運転車(レベル 4)の認可を行いました【関東運輸局】

関東運輸局は、柏市を運行する車両の自動運行装置について、道路運送車両法に基づき運転者を必要としない自動運転車(レベル 4)として認可しました。

自動運転車(レベル 4)は、あらかじめ決められたルート内を周囲の車両や歩行者等を検知しながら、特定の条件下において自動運転することが可能です。

<https://www.tbm.lit.go.jp/kanto/content/000356771.pdf>

●共創プロジェクト「公共交通のスマート化」～電動キックボードの実証実験を行います～【日立市、日立製作所】

日立市と日立製作所は、新たな移動手段の有効性を検証するため、電動キックボードを活用した実証実験を行います。実証期間は 10 月 1 日から 11 月 3 日までです。

本実証実験では、自宅から自宅近くのバス停留所まで電動キックボードを利用し、停留所から路線バスに乗り継いで勤務先まで向かう通勤方法について、自宅から最寄りバス停までのファーストワンマイルにおける電動キックボードの有効性や、公共交通への利用促進等の効果を検証します。

https://www.city.hitachi.lg.jp/machizukuri_kankyo/kotsu_doro/1002832/1017244.html

●「エコモビ実践キャンペーン 2025」参加企業・団体等を募集しています！【愛知県】

愛知県は、県内の企業・団体等が期間中、エコ通勤を中心とした「エコモビ」に積極的に取り組む「エコモビ実践キャンペーン 2025」を実施するにあたり、参加企業・団体等を募集して

います。応募期間は 12 月 3 日まで、キャンペーン実施期間は 11 月 20 日から 12 月 19 日までです。

また、キャンペーンに先立ち、「エコモビ」の実践的な取組みを推進するに当たり、役立つ情報等を紹介する「エコモビ実践セミナー」を開催します。開催日は 11 月 10 日です。本取組みは、2008 年より愛知県で県民運動として推進している、クルマと公共交通、自転車、徒歩などをかしく使い分ける「エコ モビリティ ライフ」に向けた取組みの一環です。

<https://www.pref.aichi.jp/press-release/campaign2025.html>

●クレジットカード等のタッチ決済による乗車サービス(実証実験)を拡大【東京都、三井住友カード、JCB、日本信号、オムロン ソーシャルソリューションズ、QUADRAC】

東京都、三井住友カード株式会社、株式会社ジェーシービー、日本信号株式会社、オムロン ソーシャルソリューションズ株式会社、QUADRAC 株式会社は、三井住友カードの公共交通機関向けソリューション「stera transit」を活用したクレジットカード等のタッチ決済による乗車サービスの実証実験について、利用可能駅を 55 駅に拡大しました。これにより都営地下鉄全 106 駅中 55 駅でタッチ決済による乗車サービスの利用が可能となりました。

https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/pickup_information/news/subway/2025/sub_p_2025090812195_h.html

●「バス無料デー」を実施します！【宮崎県バス利用促進協議会】

宮崎県、市町村、交通事業者で構成する宮崎県バス利用促進協議会は、バス利用のきっかけづくりを目的として、宮崎県内の路線バス等を無料で利用できる「バス無料デー」を実施します。実施日は 10 月と 12 月の第 3 水曜日・日曜日です。

本取組みの対象は、宮崎県内の在住者に限らず、宮崎県内のバス停で降車する方であれば誰でも運賃が無料になります。

<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/sogokotsu/press/2025/09/20250910083923.html>

●甲子園エリアで自動運転 EV バスの実証実験を実施します【西宮市、阪神電気鉄道】

西宮市と阪神電気鉄道株式会社は、国土交通省の「地域公共交通確保維持改善事業費補助金(自動運転社会実装推進事業)」を活用し、甲子園エリアにおいて自動運転 EV バスを用いた実証実験を実施します。実証期間は 2025 年 10 月 8 日から 2026 年 2 月中旬までの約 90 日間です。

本実証実験では路線バスの運転士不足という課題に対し、持続可能な交通体系の構築を図るとともに、次世代モビリティの実用化に向けて自動運転による近距離輸送サービスのニーズ把握や、実用化に向けた諸課題の把握・検証を行います。

https://www.nishi.or.jp/kotsu/kotsu/kotsukeikaku/jidounten/koushien_jidounten/gaiyo.html

●駒ヶ根市公共ライドシェア(meemo 駒ヶ根)実証実験【駒ヶ根市】

駒ヶ根市は、既存の公共交通を補完し、地域全体の移動利便性を向上させるために、新たな公共交通手段「公共ライドシェア(meemo 駒ヶ根)」の導入に向けた実証実験を行っています。実証期間は、12 月 27 日までです。

<https://www.city.komagane.nagano.jp/soshikiichiran/kikakushinkoka/chiikishinkogakari/5/1/11784.html>

●ヤマト運輸のセールスドライバーによる客貨混載型の公共ライドシェア「島のりあい」の実証運行を開始【奥尻町、ヤマト運輸】

奥尻町とヤマト運輸株式会社は、ヤマト運輸の集配用ワゴン車両を活用した客貨混載型の公共ライドシェアの実証運行を開始しました。また町民が副業などでドライバーを担う住民参加型モデルの実証も 2025 年 9 月中に開始する予定です。物流と旅客輸送を組み合わせた柔軟な運行体制を構築し、地域住民や観光客の移動を支える新たな交通手段として、離島特有の時間的「交通空白」の解消を目指します。

https://www.yamato-hd.co.jp/news/2025/newsrelease_20250829_1.html

●AI デマンド交通を見据えた交通空白解消プロジェクトを開始【士幌町、パブリックテクノロジーズ】

士幌町と株式会社パブリックテクノロジーズは、交通空白解消を目的とするプロジェクト「士幌町地域交通のリ・デザイン 誰もが安心して住み続けるために～交通編～」を開始しました。地域課題である移動手段の空白の拡大解消に向け、今年度はクラウドファンディング、住民アンケート調査、合意形成を実施し、2026 年度から実証運行を開始する予定です。

<https://www.public-technologies.com/news/250821>

●ぐるりんミニバス「中山線」デマンド運行実証実験を行います【田原市】

田原市は、ぐるりんミニバス中山線のデマンド運行実証実験を開始します。実証期間は 10 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までです。

デマンド運行(予約運行)するのは日・月・火曜日で、デマンド運行の日は、現在交通空白地となっている地区に新設するバス停でも乗降車が可能になります。

<https://www.city.tahara.aichi.jp/kurashi/koutsu/1012050.html>

●水素で走る FCV カーシェアリング【おおい町】

おおい町では、観光客や町内在住者向けの町内 2 次交通の充実を目的とした、水素で走る FCV のカーシェアリングを試験的に開始しました。試験期間は 2026 年 3 月頃までです。

走行可能距離は水素充填満タン時は約 400km で、予約、決済はスマホアプリ「Patto」により行うため、町内だけでなく、近隣県への移動手段として利用可能です。

<https://www.town.ohi.fukui.jp/1002/1209/100/p25124.html>

●千葉駅を起点とするモビリティハブ「千葉ぷらっと」の実証実験 ～移動と生活サービスが融合した新たな都市機能の可能性を検証～【JR 東日本、AMANE、ジオテクノロジーズ】

東日本旅客鉄道株式会社、株式会社 AMANE、ジオテクノロジーズ株式会社は、JR 東日本が主催する「WaaS 共創コンソーシアム」の実証実験として、千葉駅と周辺エリアにてモビリティハブ(4箇所)の設置を開始しました。実証期間は 2026 年 1 月 30 日までです。

モビリティハブではシェアサイクルや特定小型原動機付自転車、カーシェアリングなどの「移動サービス」と飲食や物販などの「生活サービス」を提供します。

https://www.jreast.co.jp/press/2025/20250910_ho03.pdf

●シェア乗りタクシーサービス『NearMe(ニアミー)』の運用を開始【栗東市観光協会、帝産タクシー滋賀、NearMe】

一般社団法人栗東市観光協会、株式会社帝産タクシー滋賀、株式会社 NearMe は、シェア乗りタクシーサービス「NearMe」を用いて、栗東市金勝での周遊促進実証事業を開始しました。実証期間は 11 月 30 日までです。

<https://www.city.ritto.lg.jp/material/files/group/96/20250825nearme.pdf>

●新幹線を活用した荷物輸送サービスの拡充について【JR 東海、JR 西日本】

東海旅客鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社は、法人向け荷物輸送サービス「東海道マッハ便」における利便性のさらなる向上を目指し、新たに東海道・山陽新幹線の直通列車を活用した荷物輸送サービスと「当日申込・当日お届け」の緊急輸送サービス「東海道超(ウルトラ)マッハ便」を開始しました。

https://jr-central.co.jp/news/release/_pdf/000044453.pdf

●「HELLO CYCLING」と「Lime」が業務提携 国内最大級シェアサイクルと世界最大級の電動モビリティが協働し、地域交通の利便性向上とインバウンド観光の活性化へ【OpenStreet、Lime】

OpenStreet 株式会社と Lime 株式会社は、シェアサイクルサービス「HELLO CYCLING」と「Lime」の相互利用連携を開始することを公表しました。

本提携により、両社が擁する国内外の多様な利用者にとって使いやすい「ラストワンマイル」手段を提供します。

<https://www.hellocycling.jp/info/news/2025/09/03/3729/>

●アイルランド・レタケニーに電動モビリティハブ開設【ドネゴール県議会、ATU、TCD、ESB、エンタープライズ・カー・クラブ】

ドネゴール県議会、アトランティック工科大学(ATU)、トリニティ・カレッジ・ダブリン(TCD)、アイルランド電力供給委員会(ESB)、エンタープライズ・カー・クラブによる共同プロジェクトとして、アイルランド・ドネゴール県のレタケニーで、EV や電動自転車(e バイク)を共有利用できる持

持続可能な交通拠点「ROBUST eMobility Hub」が正式に開設されました。この施設では、EV2 台、電動カーゴバイク 1 台、e バイク 4 台を一般市民が 1 時間単位または 1 日単位で予約・利用できます。

<https://www.atu.ie/news/new-sustainable-transport-ehub-opens-in-letterkenny>

●アイルランド、持続可能なモビリティ行動計画で大きな進展を報告【アイルランド 運輸省】

アイルランドの運輸省は、国家持続可能なモビリティ政策（SMP）行動計画 2022～2025 の第 3 回年次進捗報告書を発表しました。

本報告書は、2022 年の SMP 開始以来の大幅な進捗状況をまとめたもので、政策開始 3 年目にして主要なマイルストーンを達成したと述べています。最も注目すべき成果の一つは、アイルランドのバス車両の変革です。4 つの都市の公共サービス義務（PSO）バスの 41.3%が現在、低排出またはゼロエミッションバスとなっており、目標の 40%を上回っています。公共交通機関の需要も、コネクティング・アイルランド地方交通計画に基づく 45 路線の新設および拡充に支えられて増加しました。地方交通サービスにおいても、2022 年以降、507 基の新しいバス停が設置されており、これは当初の計画の 2 倍以上です。

全体として、報告書は、SMP 行動計画の 91 の対策のうち約 70%が 2025 年末までに達成され、残りの対策についても着実に進展が見込まれることを示しています。

<https://www.gov.ie/en/department-of-transport/press-releases/minister-obrien-publishes-third-annual-progress-report-on-the-national-sustainable-mobility-policy-action-plan-2022-2025/>

3. イベント情報

●バスの日イベント in 鳥栖

日時:2025 年 10 月 4 日(土)11:00～16:00

場所:JR 鳥栖駅前バス停 南交流広場

主催:鳥栖市国道・交通政策課

<https://www.city.tosu.lg.jp/soshiki/23/104229.html>

●鉄道フェスティバル in 東北

日時:2025 年 10 月 5 日(日)10:00～15:00

場所:JR 貨物 仙台貨物ターミナル駅(旧宮城野駅)構内

主催:東北地区「鉄道の日」実行委員会

<https://wwwtb.mlit.go.jp/tohoku/content/000350871.pdf>

●第 10 回おでかけ交通博 2025 in あいづ

日時:2025 年 10 月 10 日(金) 午前の部:10:30～12:20、午後の部 13:20～17:20

10 月 11 日(土) エクスカーション

場所:会津若松ワシントンホテル 双鶴、飛翔 ※エクスカーションは申込者のみに連絡

主催:国土交通省東北運輸局

<https://wwwtb.mlit.go.jp/tohoku/ks/newpage/ks-odekake-kaisai.html>

●第 32 回「鉄道の日」

日時:2025 年 10 月 11 日(土)9:30～16:00

場所:オアシス 21 銀河の広場

主催:「鉄道の日」中部実行委員会

<https://wwwtb.mlit.go.jp/chubu/press/pdf/tethudo2025082101.pdf>

●にいつまると鉄道フェスタ

日時:2025 年 10 月 11 日(土)10:00～15:30(最終入場は 15:00)

場所:新津駅周辺

主催:にいつ鉄道まつり実行委員会、JR 東日本新潟支社、(株)総合車両製作所

https://www.jreast.co.jp/press/2025/niigata/20250912_ni01.pdf

●第 32 回「鉄道フェスティバル」

日時:2025 年 10 月 11 日(土)、12 日(日)10:00～17:00

場所:お台場イーストプロムナード「石と光の広場」、「花の広場」

主催:「鉄道の日」実行委員会

https://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo01_hh_000238.html

●ちばモノレール祭り 2025

日時:2025 年 10 月 18 日(土)10:00～15:00

場所:千葉都市モノレール車両基地

主催:ちばモノレール祭り実行委員会

<https://chiba-monorail.co.jp/index.php/2025matsuri-kaisai/>

●駅祭テイング 2025 in 天王寺公園

日時:2025 年 10 月 19 日(日)10:30～16:00

場所:天王寺公園エントランスエリア「てんしば」

主催:「鉄道の日」近畿地区実行委員会

<https://wwwtb.mlit.go.jp/kinki/koutsu/tetsudo/tetsudounohi.html>

●地域脱炭素マッチングイベント

日時:2025 年 10 月 24 日(金)10:00～17:00

場所:ベルサール東京日本橋

主催:環境省

https://www.env.go.jp/press/press_05008.html

●第 32 回「鉄道の日」記念イベント

日時:2025 年 10 月 25 日(土)10:00～15:00

場所:新潟駅南口広場

主催:第 32 回「鉄道の日」北陸信越地方実行委員会

<https://wwwtb.mlit.go.jp/hokushin/content/000354158.pdf>

4. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

<https://www.green-m.jp>

- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！

https://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters_top.html

- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！

配信申込はこちらから

<https://mm-education.jp/mailmagazine.html>

- グリーンスローモビリティに関する情報を掲載しています！

https://www.ecomo.or.jp/environment/gsm/gsm_top.html

- 「運輸・交通と環境」を発行しています！

(日本語版)

<https://www.ecomo.or.jp/environment/unyukotsutokankyou/index.html>

(英語版)

<https://www.ecomo.or.jp/english/tej.html>

- 記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取り組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: magazine@ecomomo.or.jp(担当: 中道)

=====

発行: 環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<https://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

https://p.bmb.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo

EST ポータルサイト: <https://www.estfukyu.jp/>